

中学校外国語科 学習指導案

広島県立教育センター
指導主事 岩田 啓吾

- 1 対 象 中学校第3学年
- 2 単元名 AL Tからの相談に回答しよう
- 3 単元について

○単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 第9節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 1 目標 (5)「書くこと」イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」に基づいて設定した。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編において、「まとまりのある文章を書く」とは、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書くことと示されており、本単元においては、分かりやすく相手に伝わるよう自分の意見や気持ち、話題に関する事実を、「導入—内容—まとめ」といった文章構成の特徴を意識して整理するなどしながら、全体としてテーマに沿った文章を書くこととした。

題材となる「日常的な話題」としては、AL Tからの相談を扱う。具体的には、「夏休みに帰省するAL Tが家族への日本の文化が伝わるお土産として何がよいか悩んでいる場面」を設定し、生徒はそれの解決につながるような提案を書いて伝える言語活動を設定する。実際にAL Tが日本で生活していく中で、困りごとが生じたり、文化的に分からないことが生じたりするのは当然のことと思われる。そのような身近で現実的な課題に対し、生徒が英語を使用して、解決に向けて一緒に考えたり、提案したりする場面等を授業において設定することは生徒の英語使用の必然性の点からも意義があるものと考えられる。また、生徒がAL Tの気持ちや文化的背景に配慮しながら、「自分が選んだお土産は一体どういうものなのか」などについて説明するために思考・判断・表現していく過程において、言語材料として現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法が繰り返し使用されることから、それらの指導に適した単元であると考えられる。

○生徒観

平成31年度（令和元年度）実施の全国学力・学習状況調査【中学校】英語において、「**10** 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く」問題の正答率（全国）は1.9%であり、その課題を踏まえて出題された令和5年度同調査の「**10** 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」問題の正答率（全国）は7.7%であった。報告書には、「書かれる英文の文章構成や条件等が異なるため、単純に比較することは難しいが、今回の結果から、まとまりのある文章を書くことについて改善の状況にある可能性はあるが、引き続き課題があると考えられる。」と言及されている。また、本県においても、令和5年の同調査における同問題の正答率は6.1%と報告されており、同様の課題があることが分かる。

○指導観

本単元では、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を「日本に来たばかりの（日本の文化にあまり詳しくない）ALTからの相談（おすすめの日本のお土産について）を聞いて、自分の考えや説明を書き、オンライン上のドライブにアップロードすることで伝える」とし、単元を見通した言語活動を設定するとともに、まとまりのある文章を書くための指導として、次のことを行う。

- ① 事実や自分の考え等を整理して書いている生徒の記述を紹介し、相手に分かりやすく伝わる文章の要素について考えさせたり、モデル文を提示し、「導入—内容—まとめ」の文章構成の特徴に気付かせたりする。
- ② その上で、まとまりのある文章を満たす要素を整理、共有し、生徒の言葉を効果的に用いてチェックリストにまとめる。
- ③ チェックリストを基にした自己評価や相互評価の機会を設け、書いた文章を推敲させる。

日本文化の中には sushi や manga のように国際的に共通語として認識される食品や物もあるが、本単元では、ALTにとって未知と想定される食品や物を既習事項や中学校段階で学習する語句などを用いた表現で伝えることとする。生徒が日本独自の食品や物を説明する際に、どのように表現すればよいか戸惑うことが想定されるが、「別の言い方はないか」、「簡単に表現するとどのようになるか」などと促すなどして、コミュニケーション方略についても意識させたい。また、単元終末の言語活動を終えた後、ALTから生徒一人一人に言語面、内容面からのフィードバックを返すことにより、生徒の自己省察を促し、生徒の学習改善に向けた意欲をより高めることができるものと考えている。

4 単元の目標

ALTの相談に回答するために、自分がおすすめの日本のお土産に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<ul style="list-style-type: none">・現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法の特徴やきまりを理解している。・日本のお土産について、現在分詞や過去分詞を用いて説明する文を書く技能を身に付けている。	ALTの相談に回答するために、自分がおすすめの日本のお土産に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	ALTの相談に回答するために、自分がおすすめの日本のお土産に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

6 具体的な課題と採点の基準等

<p>具体的な課題</p>	<p>A L Tからの相談を聞いて、自分のおすすめについて書いて伝えよう。 < A L Tからの相談内容 (スクリプト) ></p> <p>We will have summer vacation next month. Do you have any special plans? I will go back to my country to see my family. Look at this picture. This is my family. The man sitting on the sofa is my father. He loves eating very much. The woman cooking in the kitchen is my mother. She likes cooking. The man wearing glasses is my younger brother. He is a high school student and wants to be a fashion designer in the future.</p> <p>I'm planning to get some souvenirs for them, but I don't know what to get because I have lived in Japan for just a few months. I think the souvenirs should be something connected to Japanese culture because my family members are all interested in Japanese culture very much.</p> <p>What do you recommend? Please give me some ideas. As you know, I cannot come to school so often. If you write your ideas and share them on the Internet, I can read them when I am free. See you soon!</p>
<p>「思考・判断・表現」の観点から評価する採点の基準</p>	<p>条件1 おすすめしたいお土産を1つ提案し、それに関する事実を書いている。 条件2 自分の考えや気持ちを理由とともに書いている。 条件3 一貫性のある文章を書いている。</p> <p>A 三つの条件を満たしており、さらに入手できる場所などの詳しい情報を含めて書いている。 B 三つの条件を満たしている。 C 三つの条件を満たしていない。</p>
<p>「おおむね満足できる状況」と判断する生徒の記述例</p>	<p>I recommend a Japanese traditional item called <i>furoshiki</i> to you. It is a piece of cloth used for carrying and wrapping things. In Japan, people have used it for centuries. There are still many people using <i>furoshiki</i> in their daily lives.</p> <p>I think it is a perfect souvenir for your family members because it has many colors, patterns, and ways to use it. For example, your brother can use it as a scarf, and your mother can use it when she wraps a lunch box for your father. I'm sure you can find their favorite ones.</p> <p>I hope you will like my idea.</p>

7 単元計画

時	各時間の目標 (■) 主な言語活動等 (・)	○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価 () 評価方法 「努力を要する」と判断した 生徒への手立て	指導上の留意事項
1 2	<p>■単元のゴールを理解するとともに、見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己目標を設定する。(第1時) ・モニターに映された絵や写真について、現在分詞や過去分詞を使って表現することで、分詞の形容詞としての用法について理解を深める。 ・教師のクイズ(現在分詞や過去分詞を用いて表現されたもの)を聞き、それが何を表しているかを予想する。 ・日本の文化と聞いてどのような物が思い浮かぶかワークシートに記入する。 <p>(例) sumo, judo → sports kendama, koma → toys kimono, furoshiki → clothes</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した日本の文化にまつわる物について、これまで学習した英語を用いて、そのことを知らない人に英語で説明するための文を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒の記述例】</p> <p><i>Furoshiki is a piece of cloth used for wrapping things. It has many colors and patterns.</i></p> </div>	<p>○知識・技能 (ワークシート)</p> <p><i>Furoshiki is a piece of cloth <u>using</u> for wrapping things.</i> といった誤りに対しては、「風呂敷は使っているのかな。」などのように指摘し誤りに気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標及び単元の評価規準を共有する。 ・語句レベルの表現から、簡単な文のレベルへと段階的に示すことで後置修飾の特徴に気付きを促す。 ・思い浮かんだ物をジャンル毎にまとめ、ラベリングさせることで、ラベルが修飾される名詞になることに気付かせる。 ・未習の語句についてはラベリング時に関連語として全体で確認する。 ・相手にとっての未知の語を説明する際に分詞を用いる利点があることに気付かせる。 ・未習の語句などについては、なるべく既習の語句で表現させる。 ・生徒が書いた英作文を一覧にし、主語を問うクイズの形式でオンライン上に共有する。(今後

			の学習の参考資料として活用させる。)
3	<p>■ALTの相談の要点を聞き取り、その内容を踏まえて、自分の考えを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTからの相談を聞く前に、教師と日本のお土産についてやり取りを行う。 デジタル機器を使って、ALTからのビデオメッセージを聞く。 おすすめのお土産について、自分の考えを理由とともにペアで伝え合う。 (例) A: I think <i>kendama</i> is good because he has a brother. I'm sure they can enjoy it together. B: That's a nice idea, but I recommend <i>instant ramen</i>. His father likes eating. Japanese food is popular with foreign people. やり取りを踏まえて、おすすめのお土産について決定し、その理由などをメモに書く。 再度、おすすめのお土産について、別のペアで伝え合い、得た情報などをメモに書き加える。 		<ul style="list-style-type: none"> “What do you think?”などと問いかけながら、やり取りをする中で、I recommend … や I'm sure…などの意味や用法を確認する。 ビデオメッセージを聞いた後に、やり取りを行うことを、あらかじめ伝える。 聞き取れていない生徒には個々で再生速度を落とすなどして再度聞き取らせるなどの手立てを行う。 ALTの立場になって考えていたり、理由を詳しく述べていたりする発話を取り上げ、視点を全体で共有する。 例: I think chopsticks are good because they have many kinds, and the ALT can choose his favorite ones. おすすめする理由を詳しくメモに加えている生徒のメモをモデルとして示し、共有する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・A L Tに聞いてみたいことがあれば、オンラインで質問する。 		
4 (本時)	<p>■A L Tの相談の内容を踏まえて、自分がおすすめる日本のお土産について、事実と自分の考えを整理して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がおすすめるお土産は何かについて、ペアでクイズを出し合う。 ・クイズを振り返り、分かりにくかった点と改善点をペアでコメントし合う。 ・おすすめるお土産について、前時に書いたメモの項目を基に事実と自分の考えを整理する。 ・おすすめるお土産について、お土産の説明とおすすめる理由を書く。 ・書いた英文を、ペアやグループで共有し、読み合う。 ・読んだ内容について、「A L Tの相談の内容を踏まえる」という視点に基づいて、互いに質問したり、コメントしたりする。 ・A L Tに具体的に聞いてみたいことがあれば、オンラインで質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを作成しにくい生徒には、第2時に書いた英作文を参考にさせる。 <p>○思考・判断・表現 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Shamoji is a big spoon made in Japan.</i> など、文法的に正確であっても、適切さが不十分である場合、相手意識を促す声掛けをして、必要な情報に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に理解してもらうためには、複数の情報を加えて表現すると効果的であることに気付かせる。
5 6	<p>■A L Tの相談に回答するために、自分がおすすめる日本のお土産についてまとまりのある英文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tに質問して新たに得た情報や他者からのコメントを参考に、英文を書く。 ・書いた英文をペアやグループで読み合う。 ・分かりやすく書いてある英文に着目し、オンラインで共有し学級全体でその要素について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から出てきた要素を基に教師が整理し、オンラインで共有する。 <p>要素の例：おすすめるお土産に関する提案／説明／おすすめる理由／具</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「まとまりのある文章」とは、どのような文章かについて、モデル文を参考にして考える。 ・「まとまりのある文章」の構成について、全体で意見を出し合う。 ・書いた文を基に出された要素を文章構成と照らし合わせてチェックリストとして整理する。 ・チェックリストを基に自分が書いた文を見直し、まとまりのある文章になるように再構成する。 ・書いた英文をペアやグループで読み合い、チェックリストに基づいてコメントし合う。 		<p>体例（用途や自分の経験）／メッセージなど</p> <p>【○文章構成、・要素、() 評価規準との関連】</p> <p>○導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案（自分の考え）→説明（事実） <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめのポイント（自分の考え→理由など） <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージ、気持ち（自分の気持ちや考え） <p>【チェックリスト】</p> <p><input type="checkbox"/>おすすめするお土産を1つ提案し、それを紹介する説明を書いている。</p> <p><input type="checkbox"/>おすすめのポイント（自分の考え→理由など）について書いている。</p> <p><input type="checkbox"/>おすすめするお土産に関連して、ALTへメッセージを書いている。</p> <p><input type="checkbox"/>おすすめするお土産についてまとまりよく（お土産の提案→お土産の説明→おすすめのポイント→メッセージ など）書いている。</p>
7	<p>■ALTの相談に回答するために、自分がおすすめする日本のお土産に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに書いた英文を読み返し、他者からのコメントを振り返る。 ・より分かりやすくALTに伝わるように事実や自分の考え、気持ちなどを含めて、文章全体を整理して書く。 	<p>◎思考・判断・表現（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを活用し、ペアやグループで助言をし合うように指導する。 ・ペアやグループからの助言があっても修正ができていない場合は、個別に対話をし、改善方法を 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりよく書けている生徒の文章を全体で共有するとともに、その生徒に工夫した点を説明させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた英文をAL Tに読んでもらえるように、オンライン上のドライブにアップロードする。 ・自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。 	<p>見いだせるように指導する。</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度（行動観察・振り返りシート）</p>	
後日	ペーパーテスト	◎知識・技能（ペーパーテスト）	

8 本時（第4時）の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項	指導に生かす 評価【観点】 (評価方法)
導入	○単元の目標を確認し、自分がALTにおすすめるお土産について前時のメモを確認する。		
	<p>【本時の目標】 ALTの相談に答えるために、自分がおすすめる日本のお土産について、事実と自分の考えを整理して書くことができる。</p>		
	○自分がおすすめるお土産は何かについて、ペアでクイズを出し合う。	・教師が生徒とやり取りしながらモデルを示す。	
	<p>【生徒とのやり取りの例】 In the last class, our ALT wanted you to tell him something. What was that? (生徒の返答) → Yes, he wants to get some souvenirs from Japan for his family. Do you remember what kind of souvenirs he wants? (生徒の返答) → Yes, he wants something connected to Japanese culture. There are a lot of good souvenirs sold in Hiroshima. So, it is difficult to choose one item or food. Then I asked some teachers about what they would recommend to the ALT. I will introduce some ideas from the teachers as quizzes. ・ Mr. ○○○ said, “I recommend one of Japanese traditional items used like a handkerchief or a towel. It is sometimes used as a scarf or a bandana. I think it is good because it can be used as a fashion item and a cleaning tool.” What is it?</p>		
○自分がおすすめるお土産は何かについて、グループでクイズを出し合う。 ○グループでクイズを振り返り、分かった点と改善点をコメントし合う。	・提案されるものが何か分からない相手に説明することで、どのような情報を加えれば、より相手に伝わりやすいか考えさせる。 ・クイズを作成しにくい生徒には、第2時に書いた英作文を参考にさせる。 ・コメントなどで得た気付きや情報をメモさせる。		

<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> • おすすめのお土産について、前時に書いたメモを単元の評価規準に基づき、事実と自分の考えに分類する。 • おすすめのお土産について、お土産の説明とおすすめの理由を書く。 • 書いた英文を、ペアやグループで共有し、読み合う。 • 読んだ内容について、「ALTの相談の内容を踏まえる」という視点に基づいて、互いに質問したり、コメントしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> • メモに書いた情報を、事実と自分の考えに分類させる。 • 事実については、自分の考えと分けさせた後、お土産の説明に加えるものとおすすめのポイントに加えるものに整理させる。 • 机間指導で、生言語面（正確さ）、内容面（相手へ回答するための適切さ）の気付きを促す。 <p>（例） <i>Shamoji is a big spoon made in Japan.</i> など、文法的に正確であっても、相手意識や目的意識が不十分である場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> • What is the difference between <i>shamoji</i> and a spoon? • What is <i>shamoji</i> used for? <p>などの質問をし、やり取りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALTの相談内容を再度確認し、どのような視点で英文を読み合うのかを全体で共有する。 <p>【確認する視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 日本の文化にまつわるお土産を選んでいる。 <input type="checkbox"/> そのお土産を知らなくても読んだらイメージできるように説明している。 <input type="checkbox"/> ALTの家族の情報を踏まえて、そのお土産のおすすめポイントについて詳しく説明している。 • その他、評価規準を基にどのような情報を盛り込んだらよいか考えさせる。 	<p>○【思判表】 （ワークシート）</p>
-----------	---	--	----------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・ A L T に具体的に聞いてみたいことがあれば、A L T にオンラインで質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に質問した内容の他に必要な情報があれば、質問するように促す。 	
<p>【生徒の記述例】</p> <p>I recommend a traditional item called <i>furoshiki</i>. It's a piece of cloth used for wrapping and carrying things. Some people use it as a scarf.</p> <p>I think <i>furoshiki</i> is very good for your brother because it has many colors and patterns.</p>			
<p>まとめ</p>	<p>○本時の目標に照らして、できるようになったことや分からなかったこと、アドバイスを受けて参考にしたことなどを振り返りシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できなかったことや困っていることを書いている場合は、次時に個別に指導する。 ・できるようになったことについては、どのようにしてできるようになったかについて振り返らせる。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度】(振り返りシート)</p>